

2018 年度理事長所信

2018 年度 一般社団法人安来青年会議所 スローガン

『 一 心 』

第 52 代理事長 日野 泰介

2018 年度基本方針

1. 若者が集うまち安来 ～ 若者の声を吸い上げ新たな魅力と交流を創る
2. 健全な青少年の育成 ～ 地域全体で思いやり溢れる青少年を育成する
3. 次代を担う人財への成長 ～ 成長の機会を創出しリーダーとしての資質向上を図る
4. 会員拡大は人との出会い ～ 人やまちを惹きつける情熱ある運動を展開する

【はじめに】

我々青年会議所は「まちづくり」「青少年育成」を通じて、よりよい社会の実現を目指し、地域に根差した運動を行っています。また、己の成長をもって地域を発展させるという理念の元、会員自らの資質向上、即ち地域のリーダーとなる「人財」の育成にも力を入れています。そして、運動を通じてより魅力ある安来というまちを築いていくためには、市民と共に魅力あるまちを創造し、「自分たちのまちは自分たちでつくる」という住民が主役の自立した安来を形にすることが必要不可欠だと考えます。そこで、我々が住む安来を思う心の共有こそが、主体性あるまちづくりの基礎となることを意思統一するために 2018 年度安来青年会議所はスローガンを「一心」と致しました。この言葉には、心を一つにする、一つの事に集中するという意味があります。メンバーが同じ目的で心を一つに一丸となり安来の未来に向けて価値ある事業を展開していくことで市民一人ひとりが心を一つに自分の住むまちと積極的に関わり、安来をより良くすることにつながっていきます。

【若者が集うまち安来】

我々の住む安来では人口減少による過疎化の問題を抱える一方、各地には経済発展をもたらす魅力のある自然や文化、観光、産業といった地域資源が豊富にある地域です。過疎化の問題の中でも特に若者の県外流出は顕著であり、若者をいかに地域に根付かせ

るかが人口問題からみて安来の将来を考える際には欠かせません。もちろん進学のため一時的に安来を離れる場合も多くありますが、安来に住みたい、戻ってきたいと考える若者がいなければ県外流出は止まらず、安来の魅力が未来に繋がることなく途絶えてしまう恐れがあると考えます。

そこで、我々青年会議所は責任世代として、若者がいま何を考えてどのような期待や不安を抱えているのかということに寄り添い、その若者の思いを全世代において共有し、まちづくりに反映することで、一人でも多くの若者たちに安来を好きになってもらうことを目指します。また、若者の価値観が多様化し、「田舎暮らし」や「自分の幸せ」を求める若者に対しても独自の創意工夫をもって、安来の魅力を発信しこのまちに「住みたい」「行ってみたい」と思ってもらえる人を増やすことも重要です。

さらに地域内外の人と人が繋がり若者が活発に交流することのできる新たな魅力を生み出し安来の魅力を輝かせる事業を展開するとともに、市内外に広く発信し交流人口の拡大を目指します。若者が集うまち安来の創造のために必要となる魅力を創出し発信していきます。

【健全な青少年の育成】

これから築く未来において地域を担っていくのは今の子どもたちであり、子どもたちはまさに地域の未来そのものです。しかし、今の子どもたちはテレビゲームや携帯ゲームの普及により「個」になる機会が増え、それに伴い親子間での会話の減少を招き、さらには、地域での世代を越えた交流の減少など「個」で遊ぶことが多くなった結果、さらに「個」が孤立することで周囲に思いやりを持たなくなり、思いやりを持たない子どもたちは、ますます周囲への繋がりが持たなくなっていると考えます。

我々の青少年期においては、自分たちの住む地域で体験した楽しい思い出や、その中で生まれる、人との繋がりを得られる機会が多くあり、そこで相手を慮る精神を学びました。このような環境は思いやりの心を高め、子どもたちにとって大きな糧となり、今後の健全な成長に繋がると考えます。また、子ども同士で学び合い、世代交流をすることで、相手に対し思いやりの心を持ってもらうことにつながります。

このように健全な青少年を育成するために地域に根差す我々青年会議所は、子どもたちを対象とする運動に地域の多くの大人たちを巻き込まなければなりません。思いやりに対する大人たちの見識を高め、さらには地域全体で思いやり溢れる健全な青少年の育成を行うことで、我々大人たちにとっても成長につながり、心豊かな地域社会を構築していきます。

【次代を担う人財への成長】

我々青年会議所は、数あるまちづくり団体の中でも、十分な検討と準備を重ねた上で計画を実践する団体であることに大きな存在価値があります。仮に我々青年会議所が、

机上で夢を語るだけで実際に何も行動を起こさないのであれば、それは存在価値を失うこととなります。我々青年会議所は共に運動を展開する仲間たちと、夢を持ち、若きエネルギーを存分なく発揮し、自分の五感でよく見聞きし、具体的な計画をしっかりと掘り下げて検討し、仲間と共に目的に向かって行動することができる「人財」へと成長するための団体であり、その成長を地域のリーダーとして地域社会に寄与することが求められています。

そこで我々青年会議所は、青年会議所の魅力を感じられる様々な活動や運動を通じてリーダーシップを学ぶと共に、メンバー同士や青年諸団体、その他の様々な団体との交流、連携を通じて相互の強い絆を生み出し、次代への「人財」に成長していくことができる機会を創出します。もちろん、運動を牽引する立場にあるリーダーの研鑽も大きな課題です。リーダー自身が、経験の浅いメンバーに対して助言や指摘をしっかりと伝えられているのかを自問自答すること、事業の構想を練り具体的な形にしていく手法を組織全体として確立すること、このまちの未来をより良いものにしたいという情熱や理想を言葉で伝えていくことが必要となります。メンバー各々がお互いに研鑽に励むことにより、次代を担う人財への成長へと繋げ、組織全体がより強固で光り輝くものとなる一年を目指します。

【会員拡大は人との出会い】

我々青年会議所は、なぜ会員の拡大をしなければならないのでしょうか。青年会議所の使命は、20歳から40歳までの青年世代がメンバーとして「明るい豊かな社会」の構築を目指した運動をしていくことです。この40歳までの年齢制限は青年会議所最大の特性であり、常に組織を若々しく保ち、果敢な行動力の源泉となっており、この制約があるからこそ、青年の真摯な情熱を結集し社会貢献ができるのだと思います。

現在、安来青年会議所においては全盛期に比べ会員の減少が進んでいます。このままでは組織存続や維持を目的とした議論ばかりが議題に上がり、本来あるべき「まちづくり」や「青少年育成」に向けた事業に対して情熱を注ぐことが困難になる恐れがあります。そうならない為にもメンバー一人ひとりの会員減少に対する危機感が必要不可欠です。今年度は多くの事業に安来の若者たちにご参加いただき、まちの魅力やおもいやりの心を共に勉強し共に語らうことで、今まで安来に対して情熱を持てていなかった若者たちにも安来に興味を持ってもらうと同時に、まちに対する熱い思いを呼び起してもらい、一人でも多くの若者と今後の安来の未来に向けて共に運動ができるよう、会員拡大を行って参ります。

会員拡大は人との出会いであり、青年会議所の根幹をなすものです。一人でも多くの情熱を持った若者たちと出会い、若い我らが手を取り合うことで、社会を変える力強い運動が展開できます。人やまちを惹きつける青年会議所運動の魅力は大いに活かし、多くの出会いを大切に一年にして行きましょう。

【結びに】

青年会議所は「最後の学び舎」ともいわれ、一人の大人として、地域のリーダーとして様々な成長の機会を与えてくれます。青年会議所でしか経験できない活動、青年会議所でしか会う事ができない機会に積極的に参加する事により、自分自身の成長につながり、自分の住むまち・自分の働く会社・自分の家族にも還元できるものと考えます。だからこそ、何事にも失敗を恐れず、自分の可能性を信じて青年会議所運動を仲間と共に同じ目標に向かって「一心」に取り組み、市民と共に魅力あるまちを創造していきます。

一年後、誰よりも成長した自分に期待し、その何年後かにこの経験があったからこそ今があると言えるように、2018 年度をメンバー全員が心を一つに全力でやり遂げることをお約束致します。すべては明るい豊かな安来の未来のために。皆様におかれましてはご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。